

材料ニ基キ交渉ニ移リタルガ両者ノ主張甚敷隔リアリ
 職工側ハ叔山支配人ノ態度ヲ詰問スル等各自説ヲ
 固持シテ妥懐莫ク發見スルニ至ラザリシカ仲介者ヲ
 リ各別ニ両者ノ意嚮ヲ示スル處アリテ工場側ハ要求
 ヲ容ル、之ヲ拒ラハ到底採算ノ見込ナキヲ以テ両者歩
 ヲ寄リテ一割ニ歩玉テ適譲歩ス、マキ意嚮ヲ示シ職工
 側ハ二割ヲ値上ケレテ外ニ爭議中ノ日給及爭議費用ヲ
 支給セラレ度ト要求スル處アリテ何等解決ノ曙光ナ
 クシテ散会セリ

右及申(通) 報候也

六六—六九

96



勞秘第九九六號

昭和四年六月十四日

警視總監 宮田光雄

内務大臣 望月圭介 殿

社會局長 官 殿

京都大阪神奈川兵庫愛知

靜岡福岡各府縣知事 殿

6.17
556

浦田時計側製造工場勞働爭議發生解決ノ件

工場主ニ於テハ經營困難ニ陥リタル爲六月六日使用職工十九名ニ對シ單價割減値下ヲ
 採表ス
 職工側ニ於テハ六分値下ヲ主張シテ内容ヲ示ス全日ヲ怠業スルニ至ル
 六月九日兩者ノ妥協成リ結局一割値下ニテ円滿解決ス